



2018年9月28日(金) ~

2018年10月26日(金) の活動

○ 三経連要望活動

10月17日(水)

東京都

三経連は、政府への要望活動を実施した。

久和会長、北海道経済連合会の高橋会長、(一社)東北経済連合会の海輪会長が、麻生副総理、農水省吉川大臣、国交省塚田副大臣、経産省滝波政務官に面会し、次の6項目を要望した。9月の北海道胆振東部地震発生を受け、今回の要望には地震被害からの復旧や国土強靱化の推進が盛り込まれた。

- ①大規模自然災害からの復旧復興と国土強靱化の推進
- ②地域経済を支える社会資本の整備
- ③安定的・経済的なエネルギー供給の確保
- ④労働力不足解消に向けた取組み
- ⑤新たな産業の創出および必要となる環境整備
- ⑥「観光立国」実現に向けた交流人口増加への取組み

久和会長は、北陸新幹線金沢・敦賀間の早期開業、敦賀・新大阪間の2030年頃までの1日も早い全線整備などを強く要望した。

なお、北海道胆振東部地震により、今年の三経連経済懇談会は中止された。(担当:小山)

○ 企業と大学の就職情報交換会および企業見学会

10月17日(水)~18日(木) 金沢市、富山市

関東地区大学理工系就職研究会(神奈川工科大学・工学院大学・埼玉工業大学・玉川大学・千葉工業大学・東京工芸大学・東京電機大学・東京理科大学・日本工業大学・明星大学、以上10大学の就職指導担当者による会議体)を招いて、会員企業44社の採用担当者ならびに北陸3県庁UIJターン推進担当者と就職・採用に関する情報交換会を開催し、100名が参加した。

10校の各責任者からの大学紹介に引き続き、3県のUIJターン推進施策の説明があり、その後立食形式の懇談会となった。懇談会では会場のあらゆる所で、また次々と相手を代えながら名刺交換が行われ、最近の課題や今後の連携などについて精力的に話し合われた。閉会時には、北経連事務局に対してはこのような懇談会を継続的に開催するよう要請が相次いだ。

また、関東地区大学理工系就職研究会は、北陸地域の企業5社(津田駒工業、澁谷工業、アイ・オー・データ機器、立山科学工業、リッチェル)を訪問し、採用方針の聞き取りや最先端生産設備を視察した。

(担当:木戸)

○ 第60回西日本経済協議会総会

10月19日(金)

三重県志摩市

第60回西日本経済協議会総会が志摩観光ホテル(三重県志摩市)で開催され、中部、関西、四国、九州、中国、北陸の6経済連合会の会長・副会長をはじめ総勢約130名が出席した。当会からは久和会長ほか15名が出席した。

「活力と魅力に溢れ強靱な地域の実現を目指して~日本の持続的成長に向けて~」を統一テーマに、各経済連合会会長が重点施策や諸課題について意見発表を行った。北経連からは久和会長が、「東京一極集中の打破」をテーマに定住人口増加や北陸新幹線の早期大阪延伸を訴えた。

総会では、下記を柱とする決議を採択した。

1. 新たな成長産業育成に向けたイノベーション創出・促進の強化
2. 地域を支える基幹産業の競争力強化
3. 観光振興
4. 地域産業を支える人材の確保・育成
5. 産業等の基盤であるエネルギーの安定的供給体制の構築と省エネ型社会の形成
6. 広域連携と国土強靱化に資するインフラの整備
7. 地域の自立・活性化につながる地方分権改革の推進

また、三重県知事鈴木英敬氏より「強靱で魅力あふれる三重づくり」、日本学生陸上競技連合会長松本正之氏より「全日本大学駅伝について」と題したプレゼンテーションが行われた。

総会後には、懇親パーティーで6経連の懇親を深めた。(担当:平田)

○ 北海道胆振東部地震への支援

9月6日の平成30年北海道胆振東部地震により、北海道では甚大な被害が発生いたしました。当日は北経連も参加して札幌市で三経連経済懇談会の開催することとしていましたが、中止を余儀なくされました。

当会では被災地に支援金100万円を支出することを、第341回(書面)常任理事会にて決議し、北海道経済連合会に送金いたしました。

○ ベトナム経済交流会議

10月25日(木)

金沢市

北陸 AJEC は、政策研究大学院大学と連携し、金沢ニューグランドホテルにて、「第3回ベトナム政府高官との経済交流会議 in 金沢」を開催した。ベトナム関連企業や進出を検討している北陸企業等から120名、ベトナム政府高官関係者20名の総勢約140名が参加した。

会議では、政策研究大学院大学の工藤教授の挨拶の後、タイビン省党委員会のゴー・ドン・ハイ筆頭副書記がベトナム側を代表して挨拶し、ベトナムの投資状況についての説明を行った。日本側からは、中部経済産業局の高橋淳局長、日華化学の現地法人である NICCA VIETNAM の布施信哉社長、北陸ベトナム相互企業進出促進協会の三谷充会長がそれぞれ講演した。

交流会には、金沢大学より6名、JAISTより3名、福井大学より1名のベトナム人留学生も加わり、ベトナム・北陸企業それぞれの関係者が交流、情報交換を行った。(担当:下口)

○ 中部メガプロジェクト研究会

10月26日(金)

金沢市

中部メガプロジェクト研究会(会長:丸紅㈱執行役員中部支社長 古賀久三治さま)の皆様(25名)が当会を来訪され、懇談した。

当会から北陸新幹線開業効果や大阪全線開業に向けた北経連の活動などを説明し、研究会の皆様からは、インバウンド効果に向けた取組みなど、名古屋の状況をお聞きしながら活発に意見交換した。

同研究会は、中部地域の発展に寄与する各種プロジェクトに取組み、会員の業務伸展に資することを活動内容とし、芙蓉グループ企業及び名古屋の企業の43社で構成。北経連の会員である丸紅㈱中部支社が事務局となっている。(担当:高井)

今後の主な活動予定

- 11月21日(水)
会員懇談会(福井会場)
〈場所:福井商工会議所〉
- 11月27日(火)
第8回 北陸観光(HOT)サロン
〈場所:富山県民会館〉
- 11月28日(水)
第25回 中部・近畿経済産業局との懇談会
〈場所:金沢ニューグランドホテル〉

お知らせ

○ 北陸産業活性化フォーラム

(一財)北陸産業活性化センターは炭素繊維複合材料に関する講演会・施設見学会を開催します。

【日時】平成30年11月30日(金)13:30~16:00

【場所】

金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター

住所:白山市八束穂2-2 TEL:076-276-3175

※参加無料です。また、金沢駅西口から会場まで、無料送迎バスをご利用いただけます。

詳細・参加申込はホームページをご覧ください。

<http://www.hiac.or.jp/news/details/20181130.pdf>

【申込先・問合せ先】

北陸産業活性化センター TEL:076-264-3001

FAX:076-264-3900 Mail:sanka@hiac.or.jp

○ セミナー

中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局は「IoT時代の知財戦略セミナー in 北陸」を開催します。

(共催:(一社)石川県発明協会、後援:北経連)

【日時】2018年11月30日(金)13:30~16:00

【会場】ホテル金沢4階「藤の間」

※参加無料です。

詳細・参加申込はホームページをご覧ください。

http://www.chubu.meti.go.jp/e21shinsangyo/181017/chizai_seminar_30fy.pdf

【申込先・問合せ先】

事務局:(株)ジェック経営コンサルタント

担当:小島、堀川、谷 TEL:076-444-0035

FAX:076-444-1135 Mail:chizai@jeckc.com

○ 先端技術講演会

当会の次世代ロボット研究会ではIBM Watsonに関する技術講演会を開催します。

【日時】平成30年12月10日(月)15:30~16:30

【場所】ホテル金沢2階ダイヤモンドの間

【演題】

「自然言語を理解・学習し人間の意思決定を

支援する IBM Watson の概要と活用例」(仮)

【講師】

日本アイ・ビー・エム㈱ 岡田啓一氏

(執行役員 ソフトウェア&システム開発研究所 所長)

※参加無料。詳細は後日お知らせいたします。

【問い合わせ先】

北陸経済連合会 担当:木戸・小林

TEL:076-232-0472 Mail:info@hokkeiren.gr.jp

ホームページもご覧ください!

スマホでも見やすい北陸経済連合会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.hokkeiren.gr.jp/>